

平成21年6月29日

各 位

上場会社名 モロゾフ株式会社
 代表者 代表取締役社長 川喜多 佑一
 (コード番号 2217)
 問合せ先責任者 取締役 尾崎 史朗
 (TEL 078-822-5000)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年3月24日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年1月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年2月1日～平成21年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	14,000	500	550	250
今回発表予想(B)	13,900	390	440	△70
増減額(B-A)	△100	△110	△110	△320
増減率(%)	△0.7	△22.0	△20.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年1月期第2四半期)	13,900	468	505	247

平成22年1月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年2月1日～平成22年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	28,200	550	600	150
今回発表予想(B)	28,100	385	410	△165
増減額(B-A)	△100	△165	△190	△315
増減率(%)	△0.4	△30.0	△31.7	—
(ご参考)前期実績 (平成21年1月期)	27,930	519	569	△18

修正の理由

わが国経済は、世界的な金融危機による景気の悪化が企業業績や雇用情勢に影響を及ぼし、個人消費が低迷する厳しい状況が続いております。

このような状況のもとで、売上高につきましては、主力商品の強化、積極的なキャンペーン展開、季節感を演出する店頭展開などにより前回予想の達成を目指します。損益面につきましては、包装紙類や紙器類を中心とした原材料費の高騰による売上原価の高止まり、神戸深江浜物流センター業務のアウトソーシングに伴う費用の発生などにより、営業利益、経常利益ともに前回予想を下回る見込みとなりました。当期純利益につきましても、本日別途開示の固定資産譲渡に伴う減損損失(約410百万円)計上などにより、前回予想を下回る見込みであります。

(注)上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

以 上